

コミュニティ・スクールだより

金沢市立兼六小学校
コミュニティ・スクール事務局
令和3年10月28日発行

第1回学校運営協議会が行われました

錦秋の候、地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、兼六小学校では、コロナウイルス感染予防のため延期となっていました第1回学校運営協議会を、10月15日によりやく開催することができました。日程の変更にご協力いただき参集して下さった委員の皆様には、感謝しています。



令和3年度学校運営協議会委員の皆様です

安宅 雅夫 (材木公民館 館長)	上坂 達朗 (材木地区町会連合会 会長)
大溝 了庸 (兼六小学校 学校医)	小西 護 (金沢文芸館 館長)
篠原 忍 (兼六小学校 校長)	社本 秀一 (味噌蔵地区育成委員会 委員長)
砂走 勇紀 (まことこども園 園長)	瀬谷 浩 (兼六中学校 校長)
谷 泰徳 (味噌蔵地区見守りボランティア代表)	近澤 秀也 (兼六小学校育友会 会長)
外山 郁生 (味噌蔵地区町会連合会 会長)	野田 大介 (味噌蔵町公民館 館長) ★
東 良光 (金沢中街頭交通推進隊 副隊長)	古橋 孝実 (兼六小地域コーディネーター)
割崎 泰 (材木地区少年連盟 会長)	(敬称略・五十音)

★は学校運営協議会会長

第1回の会では、校長より本校の現状や今年度の学校運営基本方針の説明を、教務主任より今年度の各分野での取組を説明させていただきました。

<校長より>



- ・10月に入り、少しずつ行事や通常の授業ができるようになってきている。
- ・一人一台端末を活用して、子ども達は写真を撮ったり、調べ物をしたり、交流したりして使いこなしている。
- ・今後も感染予防を徹底し、工夫して行事に取り組んでいく。
6年生の連体が中止→近隣3校でミニ連体
5年生の連音が中止→近隣3校でミニ連音
マラソン練習の制限で練習不足
→みんなで楽しく走る「エンジョイランニング」

<教務主任より>

- ・教育課程は予定通りに進んでいる。生活科や総合的な学習の時間など、体験を大切にして、できることはしていく予定。町探検や茶道体験、加賀友禅体験などを予定している。
- ・学力面では、①自分の意見を相手に伝えること②読書を進んですること③メディアに接する時間を決めてすることが大事だという分析結果が出ている。学校では読書の推進をするとともに、授業の中で自分の意見をみんなが言えるような雰囲気を作り続けていきたい。
- ・体力面では、例年に引き続き持久力について課題がある。体育の時間の3分間走や冬に始まる縄跳びタイムで持久力を高めていきたい。

全体会では、上記の報告を受け、学力、一人一台端末、挨拶等について話し合われました。ご意見の一部を掲載させていただきます。

学力

- ・自分の意見を言える子に育つよう、愛情を持って接してほしい。
- ・総合的な学習の時間を活用し、地域とのコミュニケーションを続けていってほしい。
- ・どの時点で勉強が分からなくなっているのか、見極めて対応してほしい。

一人一台端末

- ・子ども達は、ICT化に無理なくついて行っている。
- ・育友会でも、できるところからICT化に取り組んでいる。
- ・クロームブックの活用が進んだのは、コロナ禍によって得られたことともいえる。一人一台端末の良さを生かして、これからも頑張ってもらいたい。

挨拶

- ・挨拶ができていない。こちらから挨拶をしても、返す子が6～7割。元気に挨拶ができるようになってほしい。
- ・挨拶が習慣になっていない。

行事

- ・コロナ禍でも、いろいろ工夫してくれて、ありがたい。
- ・ICTで広がる世界もあるが、実際の体験が一番大切ではないか。できる範囲で、子ども達に体験させてほしい。
- ・工夫とアイデアが大事。兼六小は規模が小さいから、ミニ連体やミニ連音のような交流はありがたい。この交流は中学校へ行っても役に立つ。
- ・コロナ禍で、他団体の行事も少なくなっている。地域でもイベントを再開していきたい。
- ・中学校との交流も少なくなっている。
- ・団結して何かをする機会は必要。学校は人と人との温かみを感じて思いやりを養う場なのに、その機会がコロナ禍で少なくなっていることを危惧している。

その他

- ・登校時の車（大人）のマナーが悪いので心配。子ども達の道の歩き方も危ない。

また、コロナ禍における学校の苦労に対し労いの言葉もいただき、励みになりました。感染予防のため短時間での開催となりましたが、有意義な話し合いができました。

地域の皆様、今後とも兼六小学校の子ども達をよろしくお願いたします。

